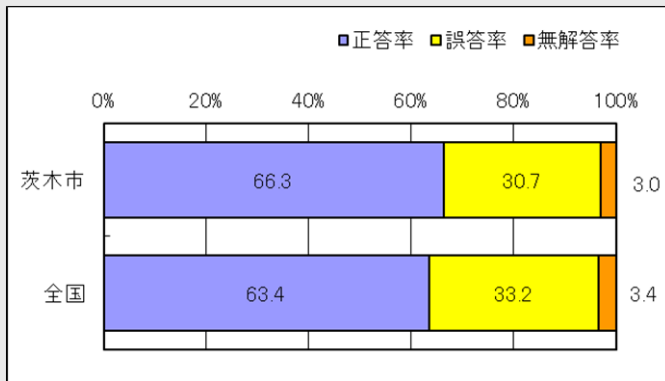


正答率比較

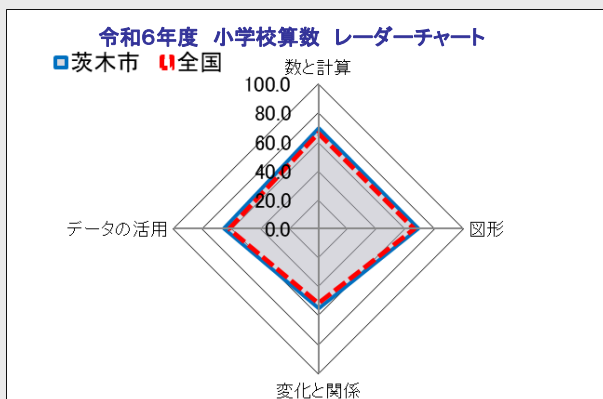
平均正答率は、全国を2.9ポイント上回った

令和6年度 小学校算数 正答率等比較



- ◆ 全国の平均正答率が 63.4%であるのに対し、茨木市では 66.3%で、全国を 2.9 ポイント上回った。
- ◆ 誤答率については、全国より 2.5 ポイント低い。
- ◆ 無解答率については、全国より 0.4 ポイント低い。

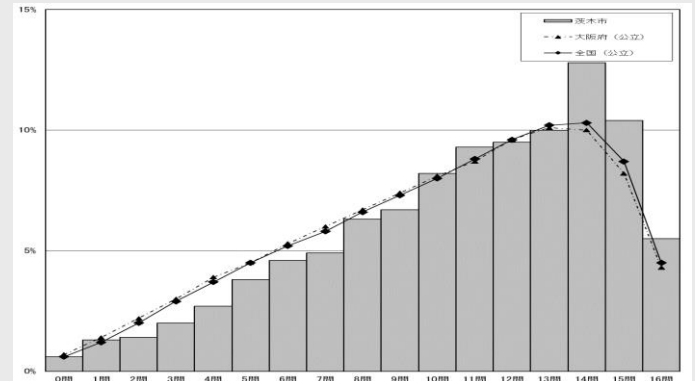
領域別



正答数分布

学力の分布は、正答数の多い側に集中した山型である

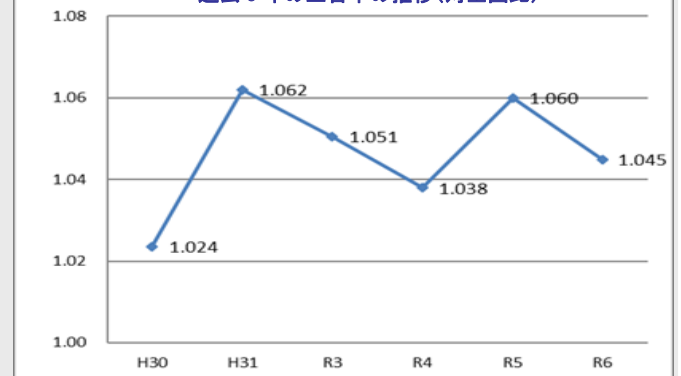
令和6年度 小学校算数 正答数分布グラフ



- ◆ 全国は 14 問、茨木市は 14 問正解の児童の割合が最も多い。
- ◆ 正答率 40%以下(0～6問正解)の児童の割合は 16.2%である。(内 20%以下(0～3問正解)の児童の割合は 5.1%)
- ◆ 正答率 80%以上(13～16問正解)の児童の割合は 38.7%である。

正答率経年比較

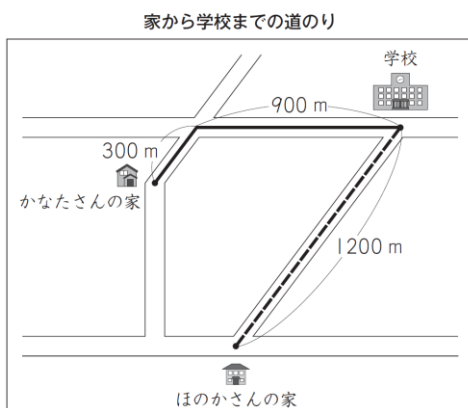
過去 5 年の正答率の推移(対全国比)



課題があった設問

○家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く (正答率 32.5%)

④ (3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校まで、かなたさんは 20 分間、ほのかさんは 24 分間かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の 1 と 2 から選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- かなたさん
- ほのかさん

【正答例】【番号】 1 【わけ】 かなたさんの家から学校までの道のりは、 $900+300=1200$ で、1200mです。かなたさんとほのかさんが歩いた道のりは、1200mで同じです。かかった時間は、かなたさんのほうが短いです。道のりが同じとき、時間が短いほど速さが速いので、かなたさんのほうが速いです。

正答の条件

- A ①歩いた道のりが等しいこと
②かなたさんのかかった時間がほのかさんのかかった時間より短いこと。
- B ①かなたさんの歩く速さを表す数や式、言葉
②ほのかさんの歩く速さを表す数や式、言葉

番号	わけ	本市の解答類型	正答
1 かなたさんを選択	A①、②	22.1	◎
	A①	32.3	
	A②	2.9	
	B①、②	10.4	◎
	B①	0.1	
	B②	0.6	
	その他	11.8	
2 ほのかさんを選択		16.3	
上記以外の解答		1.2	
無解答		2.3	

○かなたさんの方が速いと判断できている児童は 80.2%

○かなたさんの方が速いと判断できており、かなたさんとほのかさんが歩いた道のりが等しいことも記述できているが、かなたさんがかかった時間がほのかさんがかかった時間よりも短いことは記述できていない児童が 32.3%

道が曲がっていることやまっすぐであることを記述している児童 7.6%

【この問題で求められている力】

場面に応じて速さの比べ方を考察する力

☆どちらが速いかについては理解しているが、その根拠について説明する際に、問われた課題に対して十分でない回答が多い。
→理由を説明する際に、発信するだけでなく、どのように説明すれば十分な説明になるかをすることでこれらの力を伸ばすことができる。

【算数についての今後の指導のポイントとして】

日常生活や社会の事象と、算数・数学の学習を結びつけ、考える力の育成をめざす。
算数の授業の中で身に付けた知識及び技能を様々な場面で活用していくことで、児童にとって学習が意味のあるものとなる。そして数学の良さについて実感を伴って味わうことができるようになる。
そのために、日々の授業の中で、子どもたちが「自分ごと」としてとらえることができる課題設定を行うとともに、よりよい解決法を見出していくための意見交流や議論などの対話的な学びを取り入れる。そうすることで児童は、事象を多面的にとらえることができるようになり、学習過程において思考を深めることができる。
児童生徒が問題解決に向けての見通しをもち、数学的表現を用いて協働的に学び合い、表現し合う問題解決的な学習を引き続き行っていく。